

### 1 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3670101389		
法人名	医療法人 鴻志会		
事業所名	グループホームサムデイ		
所在地	徳島市川内町平石若松95		
自己評価作成日	平成27年9月16日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/">http://www.kaigokensaku.jp/</a>
----------	-----------------------------------------------------------------------

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会		
所在地	徳島県徳島市中昭和町1丁目2番地 県立総合福祉センター3階		
訪問調査日	平成27年10月29日		

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

事業所では利用者様に「明るく楽しく安らぎと幸せを実感」を基本に毎月の行事では毎年新たな催しの慰問の方々に慰問して頂き、利用者様や家族様に楽しんで頂いています。地域とに共に あなたらしく 私らしく 生き生き長生きを地域理念とし地域との交流の場を設け、文化祭出展作品作りや秋祭りには書道を展覧させていただいています。家庭的な雰囲気の中で安心して生活を送って頂けるよう毎週、主治医の往診と県の訪問看護協会との24時間オンコール体制と1階と2階、隔週での訪問を行って頂き、衛生管理、身体管理を行っています。環境面では季節毎の草花を育て、リビングのテーブルに花を絶やさないう心がけ、プランターではミニトマトやイチゴの収穫をお手伝いして頂いています。

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所は、静かな田園地帯に位置している。地域との交流も活発で、趣味の園芸などを楽しむ利用者もいる。同一法人の運営する医療機関の医師による往診や訪問看護など、24時間の医療連携体制を整備している。代表者や管理者、職員間の関係は良好で、積極的に研修会や勉強会等を行うなどしてサービスの質の向上に努めている。利用者や職員で散歩や買い物に出かけたり、食事の準備や調理を行ったりしており、家庭的で楽しい雰囲気がある。

### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

## 自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			1F 実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員全員で地域密着型の理念の意義をふまえた支援に取り組んでいます。	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所独自の理念を掲げている。全職員で理念について話し合っており、理念を支援の原点として捉え取り組んでいる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地元喫茶店やスーパーへ利用者様と出かけたり、施設の夏祭りには地元、保育園児のお遊戯、神社お祭り作品展出展。地域会長様からの野菜の差し入れも頂き地域との交流を大切に取り組んでいます。	事業所では、地域の民生委員等から清掃活動や地域行事の情報を得て、利用者と職員で参加している。郵便局内に利用者の作品を展示してもらったり、保育所の子も達やボランティアの来訪を受け入れたりして、相互に交流を図っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	家族会や、ご家族様の面会時等に話し掛けたり、運営推進会議の際などに話し合いを行っています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では外部評価での結果を報告したり、今後の取り組みについて話し合っています。研修報告もしており、地域の行事等の情報も聞けており運営推進会議で出された意見を日頃のケアに反映しています。	2か月に1回、運営推進会議を開催している。利用者や家族、地域の代表者、保育所の管理者、市担当者等の出席を得ている。奇数月の第4火曜日を開催日として定めるなど、出席しやすいような工夫も見受けられる。会議時に出された意見を事業所運営に反映させている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村担当者様や包括支援センター担当者様とは日頃より頻回に相談させて頂けており丁寧な説明や指導をして頂けています。	毎月、職員が市担当窓口へ出向き、実績報告書等を手渡し、情報や助言を得ている。各種会議に出席してもらうなど、直接、事業所で相談する機会も設けている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護保険指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について全ての職員が理解しており、新しく入られた職員についても説明をし、身体拘束をしないケアに取り組んでおり、新しく入居された利用者さまの家族様にも身体拘束はしない旨お伝えしています。	事業所では身体拘束の弊害を理解するための研修の機会を設けるなどして、職員が正しい知識を得ることができるよう努めている。帰宅願望のある利用者には、職員が寄り添って話しかけたり、一緒に歩いて気分転換を図ったりして支援している。玄関は、時間帯で開錠するようにしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止について職員は理解しています。テレビのニュース等で流れると話題にし施設内・外研修でカンファレンス時に報告をし、全員で共通認識を深めています。言葉の虐待についてもカンファレンス時に接遇マナーを学ぶ施設研修を行っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			1F 実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	新しく入居された利用者様のご家族には権利擁護の説明をしており、相談された時には個別に相談させて頂いています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約締結時には、ご本人様や、ご家族様と話し合い不安な事や、ご要望を尋ね契約事項に沿って十分な説明を行っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日頃より面会等で意見や要望を尋ね、月に1回の近況報告等でも担当者は改善の報告をしたりして個々でのコミュニケーションも図っています。運営推進会議や家族会でも話し合う機会を設けています。	職員は、日頃の利用者との関わりの中で、一人ひとりに寄り添い、本人の意向を大切にしたケアに努めている。家族会のほか、家族の来訪時にも話しやすい雰囲気づくりに努めている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	経営者はカンファレンスに参加し、他の職員ともコミュニケーションを図る機会を設けており管理者は日頃より運営に関する職員の意見や提案には耳を傾け、話し合いが必要な内容についてはカンファレンスで話し合う機会を設けています。	日頃から管理者は、職員のケアに対する思いや意見を聞くようにしている。代表者はカンファレンスなどの機会に、職員の意見に耳を傾けるよう努めている。また、職員から出された意見を運営面に反映するようにしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	就業規則により子育て、介護、病気などについて規定を設けている。特例的な措置にも対応してくれている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員には毎月順番で研修を受ける機会を設けており職員のスキルアップ、またサービスの質の向上に努めており、職員も施設が取り寄せている認知症介護の月刊誌を読んだりと自主的に学び姿勢も見られている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修会等でも他施設との情報交換に努め、施設で活かせる取り組みを行っています。		



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			1F 実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者様や、ご家族さまの希望や、困っていることに耳を傾け生活暦の把握をし信頼関係の構築に向けコミュニケーションを図り、要望に沿った支援を行っています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご自宅や他施設での生活について聞き取りをし、ご家族様が一番困っている事や不安な事を伺い、相談される家族様の立場になって、今後の方針について話し合っています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	当施設入所前の生活で困っていた事、またどのようなサービスを求めているのかを話し合い、事業所で行うサービスが実践できるよう支援しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活において常に行動を共にし、役割分担をする事で職員が助けられる場面が、生活の色々な場面で見られており、共に学び、支えあい、信頼関係が築けています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時には近況報告をし施設の行事時や、お便りなどでも利用者様の悩みや望みをお伝えし、ご家族様との外出の機会も増やして頂き、職員とご家族様が共に利用者様を支えていけるように支援しています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入所時には面会についての希望をお聞きして友人や近隣住民の方との面会が円滑に行えるように支援しています。利用者様一人ひとりの希望や要望に応じた支援を心がけています。	友人や知人等の来訪時には、リビングや居室でゆっくりと過ごしてもらえよう配慮している。家族の協力を得て、馴染みの人や場所等関係の継続に留意した取り組みを行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員は利用者様同士の関係がうまくいくように利用者様同士の関係を把握し、利用者様同士の関わり合いや支え合いを支援し孤立しないように努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			1F 実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用者様が入転院に至った際には職員がお見舞いに行くようにしており、住み替えが必要となった場合はフェイスシートの作成をし、また退所後も、ご家族様が季節のお野菜を運んでくださったりしておりこれまでの関係性を大切に築いている		
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は日頃より利用者様とコミュニケーションを図り支援を行っており利用者様一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めています。	職員は、日頃の利用者との関わりのなかで、一人ひとりの希望や意向の把握に努め、その人らしい暮らしの実現に向けた支援に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者様の馴染みの暮らし方、生活環境を本人様やご家族、面会者様よりお聞きし情報収集しサービス利用の経過等の把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの得意なこと、能力に応じた役割分担、体操やバイタルチェック、会話等コミュニケーションによる体調不良の早期発見に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人やご家族様から希望やご要望をお聞きし職員と話し合い、ご本人の現状に即した介護計画作成に努めています。	介護計画は本人や家族の意向を尊重したうえで、モニタリングを行い、関係者間で話し合っ作成している。利用者の心身の状態の変化に応じて見直している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や介護計画を活かしたケアの実践、気づきや工夫を生活記録や日誌に記入して職員間で情報の共有し実践や介護計画の見直しに取り組んでいます。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	緊急時の入院や病院受診時等その時々状況に応じて本人様ご家族様の要望に対して柔軟な対応に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			1F 実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	理美容は出張理美容を利用させて頂き歯科受診が困難なご利用者様には訪問診療にて対応させて頂いています。ご利用者様の心身状態に応じた対応を心がけています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人様、ご家族様と相談させて頂いた上でかかりつけ医や納得された医療機関の受診をして頂いています。適切な医療を受けられるよう支援しています。	利用者や家族の希望により、協力医療機関が主治医となっている。週1回の往診や緊急時の24時間体制を構築している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	県訪問看護協会の訪問看護師との連携により週1回の訪問看護にて健康管理をして頂いている。個々の利用者様が適切な受診や看護を受けられるように医療機関や訪問看護協会との連携を図っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご家族様に状況確認をさせて頂くと共に職員も面会に行き病院関係者との関係づくりや情報交換をし退院の予定や今後について話し合うようにしています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合や終末期について早い段階から本人様ご家族様と相談し協力医療機関とも相談しながら今後の治療方針や看取りについての方針を確認させて頂きチームで支援に取り組んでいます。	重症化や終末期に関する指針を作成している。入居時の段階で、本人や家族に説明し同意を得ている。家族や訪問看護、協力医療機関と連携を図りつつ、終末期の支援を行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	カンファレンス時に勉強会を行い緊急時の対応、事故発生時に備え応急手当や初期対応の手法や方法を身につけています。また、AEDの使用方法についても専門の方を招き勉強会を開催したり、個々で消防署まで出向き講習を受けています		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の防災訓練を行い・避難場所を協力病院と決めておりますが、災害の多様化に対応できるように地域住民の協力を得られる体制づくりを目指しています。	年2回、日中と夜間を想定した避難訓練を行っている。災害時の対応マニュアルを作成し、3日間の食料品を備蓄している。	

自己	外部	項目	1F		
			自己評価 実践状況	外部評価 実践状況	
			外部評価 次のステップに向けて期待したい内容		
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者様の自尊心やプライバシーを損ねないように言葉かけや対応には十分な配慮をした支援を心がけています。	利用者一人ひとりの人格や習慣を尊重し、自尊心やプライバシーを傷つけることのないよう支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の関わりの中で、その時々言葉や表情から読み解き理解し、本人様の思いや希望の表出、自己決定が出来る様に支援してます。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様一人ひとりのペースに合わせて生活して頂ける様に言葉かけや支援を行っています。また、散歩や買い物や外食など希望に沿った支援を心がけています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時の整容ケア、季節に応じた衣類の選択、入浴後の肌のお手入れや髭剃り等 整容やおしゃれなどを支援しています。入居者様と、ご家族様の好みにより、訪問美容、訪問理容を選んで頂いたり、馴染みの美容室の利用もして頂いています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューは利用者さまの希望や好みのメニューを取り入れ野菜の皮むき、ミカンの皮むき、豆の筋とり、胡麻すりなどを日常的に頂いています。食後は食器を洗ったりテーブルを拭いたり職員と共に準備し、後片づけをしています。	職員は、利用者一人ひとりの希望を聞くなどして献立を立てている。利用者と職員は、調理の準備や片付けを行っている。利用者と職員でテーブルを囲み、食事を楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量、水分量記録し一日の摂取量を満たしています。体調にあわせたり体操後等、水分補給して頂き食事量少ない利用者様が食べ易いように形状工夫したり家族様に了解得て栄養補助食品を提供したり一人ひとりに合わせた支援をしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	一人ひとりの状態を把握した口腔ケアや生活習慣を取り入れ、毎食後の歯磨き支援や、義歯使用の方には夕食後洗剤の使用にて消毒を行い清潔保持に努める支援をしています。		



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			1F 実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	利用者様一人ひとりの能力に応じた支援を心掛け排泄のサインを見逃さず、パターンや時間を把握し、できるだけトイレで気持ちよく排泄できるよう支援しています。また、ご家族様の意向に添った支援にも心掛けています。	職員は、利用者一人ひとりがトイレで気持ちよく排泄することができるよう支援している。職員がトイレ誘導を行う際には、さり気ない声掛けを心がけている。なるべくおむつを使用せず、トイレで排泄することができるよう支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘がちの方が多く理解したうえで、軟下剤の服用や運動、水分摂取、食物繊維、乳製品等摂取して頂き便秘の予防を行っています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入居者様一人ひとりの希望や体調、状態に応じて入浴をして頂いています。入浴を拒む利用者様には職員を替えたり、時間を替えての言葉がけを行い、理由を聞き対応、必要であれば、ご家族面会時の入浴をお願いしています。	職員は、利用者一人ひとりの心身や精神状態に応じ、無理強いすること無く、本人に寄り添った支援に努めている。本人が納得して入浴することができるよう配慮している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣の把握をし、個々の対応を心掛け、日中の環境を整え夜間の安眠につなげる支援を行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の目的や副作用、用途容量を理解し症状の変化や安定について職員間で話し合い毎週の主治医の往診や隔週の訪問看護時には報告しています。投薬時の確認も厳重に行い変更時間違いの無いよう職員間で情報の共有を行っています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様の好みや生活習慣に合わせた役割分担ができており、得意分野での活躍生きがいや励みにされ生活されている。今年も地域の文化祭やお祭りに作品を出展する事が決まっております。作品作りをして下さっている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	以前は年間行事としてのお花見や、遠足を企画していましたが、ご家族様も高齢となりつつあり最近では個別での買い物やドライブ、地域の喫茶店へ、スイーツを食べに行くなど外出支援を行い、筋力強化を兼ねた散歩もケアプランに取り入れて気分転換につなげる支援をしています。	季節の良い日には、利用者がベランダや庭で外気浴をすることができるよう支援している。利用者と職員で地域の喫茶店や商店に出かけることもある。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			1F 実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	職員は、ご利用者様が、お金を持ち管理することの大切さを理解しており、ご家族様と相談し希望や能力に応じて所持して頂いている。買い物や外出に応じて支援させて頂いています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様が携帯電話を用意されているご利用者様については要望に合わせ連絡の支援をさせて頂いています。また、公衆電話からの連絡の仲介役となったり、季節のお便り、手作り絵手紙の支援もさせて頂いています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間には庭やプランターで咲いた草花を生けたり、玄関や中庭、日当たりのよい花壇では季節ごとの草花を育て穏やかで心地良い空間の提供を。リビングはできる限りシンプルで馴染みのある空間づくりをめざし、浴室やトイレは分かりやすい表札での案内をしています。	共用空間には、暖かい日差しが差し込んでおり、明るく開放感のある空間となっている。利用者と職員で作った作品を壁面に飾るなどして、居心地良く過ごすことができるよう支援している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングのソファやダイニングテーブルの椅子に座られ気の合った仲の良い利用者様同士で会話をしたり、工作をしたり、一人でパズルをしたりと思い思いに過ごせるようにしています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族様と写した写真ですとか趣味や好みの装飾品、テレビ、冷蔵庫、扇風機等、ご本人様に合わせて、ご家族様が用意されています。職員は利用者様と相談し、ご家族様に要望を伝える支援をしています。	居室には、利用者の使い慣れた家具や道具を持ち込んでもらっている。本人が居心地良く過ごすことができるよう支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部の洗面所、トイレ、洗濯場などの共用部分には目印をかけたり、歩行ルートでの安全確保をして、できる事、わかる事を生かして、安全かつ自立した生活が送れる」ように工夫している。		

## 自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	自己評価	自己評価
			2F 実践状況	実践状況	実践状況
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員全員で地域密着型の理念の意義をふまえて共有し支援に取り組んでいます。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	入居者様と地元の店や喫茶店に出かける機会を増やし、行事夏祭りに保育園児のお遊戯、神社お祭りの掃除手伝い作品展示参加文化祭作品出展、地域会長様からの野菜の差し入れもして頂け地域の交流機会増えています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	家族会や運営推進会議開催時に勉強会や話し合いを行っている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では外部評価の結果報告したり今後の取り組みについて話し合ったり、研修報告もしており、地域の行事の情報も聞けており運営推進会議で出された意見を日頃のケアに活かしてサービス向上に努めている。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村担当者様や地域包括支援センター担当者様とは日頃より頻回に相談させて頂けており丁寧な説明や指導を頂けています。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員は身体拘束について理解しており新職員についても確認し理解し、身体拘束をしないケアに取り組んでおり、新しく入られた利用者様の家族様にも身体拘束はしていない旨お伝えしています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止について職員は理解しており研修に参加しカンファレンスで研修報告しており職員全員で共通認識を高めています。言葉の虐待についてもカンファレンス時に接遇マナーを学ぶ研修を予定しています。		

自己	外部	項目	自己評価	2F	自己評価	自己評価
			実践状況		実践状況	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	新しく入居された利用者様の家族様には権利擁護の説明をしており相談された時には個別に相談もさせて頂いています。			
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約締結時には本人様や家族様に不安や要望を尋ね契約事項に沿って十分な説明を行っています。			
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日頃より面会時等に意見や要望を尋ね月に1回の近況報告等でお知らせしたりコミュニケーションも図り、運営推進会議や家族会でも話し合う機会を設けています。			
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	経営者はカンファレンスに参加し管理者は職員の意見や要望に耳を傾け直ぐに改善を伝えるようにしています。話し合いが必要な内容についてはカンファレンスで話し合う機会を設けています。			
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	就業規則により子育て介護や病気に関する規定を設けている。また、特例的措置にも対応可能な体制を構築しています。			
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員は順次研修を受ける機会を確保しておりスキルアップ、またサービスの質の向上に努めている。カンファレンス時には気づいた点、改善した点等を共有できるよう話し合いの場を設けています。			
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他施設との交流により情報交換したりサービスの質向上に努めています。			

自己	外部	項目	自己評価	2F	自己評価	自己評価
			実践状況		実践状況	
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者様や家族様の困っている事や要望等に耳を傾け生活暦の把握をし信頼関係の構築に向けたコミュニケーションを図り要望を取り入れた支援を行っています。			
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス利用前の面接時に、家族様が今一番困っている事や不安な事、利用者さまの今までの生活について聞き取りをして今後について話し合っています。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご自宅での生活について聞き取りし、どのようなサービスを望んでいるかまた、どのような事ができるか把握し、事業所でできる事を考え実践できるよう支援しています。			
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活において、常に行動を共にし役割分担する事で職員が助けて頂く場面が多々見られます。			
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時に近況報告したり電話連絡も密にし良い関係が築けている。家族様との外出機会も増やして頂いて利用者様を支えていけるよう支援しています。			
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外出、面会の機会を増やしてもらい馴染みの人との関係が途切れないように心がけています。			
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員は利用者様同士の関係がうまくいくように利用者様同士の関係を把握し利用者様同士の関わり合い支えあいを支援し一人ひとりが孤立しないように努めています。			



自己	外部	項目	自己評価	自己評価	自己評価
			2F	2F	2F
			実践状況	実践状況	実践状況
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用者様が入院等の理由により転院」に至った際には職員がお見舞いに行くようにしております。退所後も利用者様の展示作品を見に来て下さったりしています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は日頃より利用者様とコミュニケーションを図り支援を行っており利用者様一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者様の馴染みの暮らし方、生活環境を本人様やご家族、面会者様よりお聞きし情報収集しサービス利用の経過等の把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの得意なこと、能力に応じた役割分担、体操やバイタルチェック、観察、会話等コミュニケーションによる体調不良の早期発見に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人やご家族様から希望やご要望をお聞きし職員と話し合い、ご本人の現状に則した介護計画作成に努めています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や介護計画を活かしたケアの実践、気づきや工夫を生活記録や日誌に記入して職員間で情報の共有し実践や介護計画の見直しに取り組んでいます。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	緊急時の入院や病院受診時等その時々状況に応じて本人様ご家族様の要望に対して柔軟な対応に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	自己評価	自己評価
			2F 実践状況	実践状況	実践状況
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	理美容は出張理美容を利用させて頂き歯科受診が困難なご利用者様には訪問診療にて対応させて頂いています。ご利用者様の心身状態に応じて対応を心がけています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人様家族様と相談させて頂いた上でかかりつけ医や納得された医療機関の受診をして頂いています。適切な医療を受けられるよう支援しています。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	県訪問看護協会の訪問看護師との連携により週1回の訪問看護にて健康管理をして頂いている。個々の利用者様が適切な受診や看護を受けられるように医療機関や訪問看護協会との連携を図っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	家族様に状況確認をさせて頂くと共に職員も面会に行き病院関係者との関係づくりや情報交換や相談し退院の予定 今後について話し合うようにしています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合や終末期について早い段階から本人様ご家族様と相談し協力医療機関とも相談しながら今後の治療方針や看取りについての方針確認させて頂きチームで支援に取り組んでいます。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	カンファレンス時に勉強会を行い緊急時の対応、事故発生時に備え応急手当や初期対応の手技や方法を身につけています。また、AEDの使用方法についても専門の方を招き勉強会開催しています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の防災訓練を行い・避難場所を協力病院と決めておりますが、災害の多様化に対応できるように地域住民の協力を得られる体制づくりを目指しています。		

自己	外部	項目	自己評価	2F	自己評価	自己評価
			実践状況		実践状況	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者様の自尊心やプライバシーを損ねないように言葉かけや対応には十分な配慮をした支援を心がけています。			
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の関わりの中で、その時々言葉や表情から読み解き理解し、本人様の思いや希望の表出、自己決定が出来る様に支援しています。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様一人ひとりのペースに合わせて生活して頂ける様に言葉かけや支援を行っています。また、散歩や買い物や外食など希望に沿った支援を心がけています。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時の整容ケアや共に季節に応じた衣類の選択入浴後の肌のお手入れや髭剃り等 整容やおしゃれなどを支援しています。			
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様にメニュー書き、盛付、テーブル拭き、下膳等できることを共にして頂いている。			
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量、水分量記録し一日の摂取量を満たしています。体調にあわせてたり体操後等水分補給して頂き食事量少ない利用者食べ易いように形状工夫したり家族様に了解得て栄養補助食品を提供したり一人ひとりに合わせた支援しています。			
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	一人ひとりの状態に合わせ、本人様の習慣を取り入れ、毎食後の歯磨き、義歯使用の方は夕食後洗剤を使用し清潔保持に努めています。			

自己	外部	項目	自己評価	自己評価	自己評価
			2F 実践状況	実践状況	実践状況
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	利用者一人ひとりの能力に応じて支援している。排泄のサインを見逃さず、パターンや時間を把握しできるだけトイレで気持ちよく排泄できるよう支援しています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘がちの方が多く理解したうえで軟下剤の服用や運動、水分摂取、食物繊維、乳製品等摂取して頂き便秘の予防を行っています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入居者一人ひとりの希望や体調、状態に応じて時間の調整をし、ゆっくり入浴して頂いています。入浴を拒む利用者様には職員を替えて言葉かけや説明を行い入浴して頂いています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣を把握し、その時々で対応させて頂いています。規則正しい生活を心がけ、夜間の不眠が見られた場合には日中の状態に合わせた安眠の支援を行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の目的や副作用、用途、容量を理解しており、症状の変化や安定について職員間で話し合い、毎週の主治医の往診や訪問看護時に報告しています。投与の確認も厳重に行い変更時間違いの無い様確認しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様の好みや生活習慣に合わせた役割分担しており、得意分野での活躍を生きがいにやりがいにされ生活できている。地域の文化祭やお祭り展示する作品作りをして下さっています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	お花見、バラ園、ドライブ等外出機会を作り。郵便局や文化祭、お祭りに作品展を見に行ったり、地域の喫茶店へ行ったり、買い物に出かけたり天気の良い日は散歩に出かけたりしています。		



自己	外部	項目	自己評価	自己評価	自己評価
			2F 実践状況	実践状況	実践状況
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	職員は利用者様がお金を持ち管理する事の大切さを理解しており、ご家族様と相談し希望や能力に応じて所持して頂いている。買い物に応じて支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望時は家族様に電話したり、季節のお便りも支援しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有の空間には常に季節の花を生けたり、下駄箱には木炭を置く消臭、浴室やトイレにはわかり易く表札で案内したり工夫しています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングのソファや椅子に座られ気の合う利用者様で会話されたりテレビを見たり読書したり利用者様が思い思いに過ごせるようにしています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族様と写した写真飾ったり趣味や好みの装飾品また、テレビや冷蔵庫や冬には電気毛布など利用者様にあわせ家族様が用意してくださったり、利用者様の要望を伝えたり支援しています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部の洗面所、トイレ、風呂場等共有部分には目印をかけたたり歩行ルート of 安全確保をし、できること、わかることを生かして安全かつ自立した生活が送れるように工夫しています。		